

## 7 主なイベント等の開催状況

(■は当協会が実行委員会の事務局を担当 ●は当協会の主催事業)

### (1) ■第86回北海道音楽大行進 (平成30年6月2日)

参加団体98団体、参加者3,843人。天候に恵まれたこともあり観客動員数は148,000人で前年より12.9%増加した。リベライン旭川パーク、ロータリー、永隆橋通を音楽パレードが行進し沿道の歓声に応えた。行進終了後にアフターコンサートが平和通買物公園、旭川市民文化会館にて行われ、旭川を中心市街地は音楽に満ちあふれた。 【市受託事業】

### (2) 花フェスタ2018旭川 (平成30年6月6～10日開催)

旭川市、北海道新聞社、旭川商工会議所、当協会等11の団体、機関で花フェスタ旭川実行委員会を組織し、旭川大雪アリーナで開催。

「花と暮らすまちづくり、夢づくり」をテーマに5日間、多彩な催しが行われた。

観客動員数は13万2千人 (前年比96.4% : 13万7千人)。 【実行委員会参画事業】

### (3) バーサーロペット花いっぱい運動 (平成30年6月15日～7月20日)

国際バーサーロペット交流委員会が主催する事業で、スウェーデン、アメリカ、中国、日本(旭川)の4か国の高校生が交流する「青少年文化交流事業」などの資金協賛のため、フラワーポットを市内各所に設置する運動。当協会でも、各理事・会員から協賛を得て、旭川観光コンベンション協会のステッカーを貼付したフラワーポットを総合体育館に設置して同事業に協力した。

【実行委員会参画事業】

### (4) 第57回旭川夏まつり (平成30年8月2～4日開催)

8月2日(木)～4日(土)の3日間、道新納涼花火大会、大雪連合神輿、市民舞踊パレード、大雪さんろくまつり、烈夏七夕まつり等が併催で実施。開会式では、旭川観光コンベンション協会観光頭功賞授与式を行い、観光頭功賞2名、特別観光頭功賞、観光頭功奨励賞各1団体を表彰。大雪さんろくまつり会場の観光案内所では、旭川観光ボランティア協議会の協力を得て観光案内を行い、また、障害者によるユニバーサル神輿では、旭川観光ボランティアがサポートして祭りを盛り上げた。観客動員数は95万人 (前年比104.3% : 91万人) 【実行委員会参画事業】

### (5) 2018 北の恵み 食べマルシェ (平成30年9月15～17日開催)

平成30年9月15日(土)～17日(月)の3日間、旭川駅前広場、平和通買物公園、七条緑道、常磐公園、JR旭川駅等を会場に、旭川市及び北・北海道地域の農・畜・海産物、加工食品、自慢料理・郷土料理などを一堂に集めた巨大市場が展開された。当協会は常磐公園内の案内所において、旭川観光ボランティア協議会の協力を得て、イベントの説明や会場案内などを行った。なお、旭川観光ボランティア協議会は旭川駅西コンコースでも観光案内を行った。また、旭川観光物産情報センターとあさテラス案内所では、実行委員会からの要請で期間中は外国語(英語)対応可能なスタッフを配置した。来場者数は102万人 (前年比118% : 80万6千人)

(6) ■第61回こたんまつり（平成30年9月23日開催）

旭川市、旭川商工会議所、西神居地区市民委員会、旭川チカップニアイヌ民族文化保存会、当協会で行実委員会を組織し、例年秋分の日神居古潭旧駅舎周辺で開催。昭和33年から続く旭川の歴史的イベントで、市民や観光客が神居古潭の自然や歴史的文化遺産などに親しみ、神居古潭地域の魅力を再発見するとともに、同地域の活性化を図ることを目的とする。地元果樹農家と市内のスイーツ工房・パン工房などとのコラボレーションによる新作スイーツやパンを来場者に販売。また、大雪山カムイミントラジオリオパーク構想推進協議会の支援を受け、道や市の指定文化財である堅穴居住遺跡などを巡るミニ・ジオツアーも実施した。来場者数は4,500人。 【実行委員会参画事業】

(7) ■あさひかわ街あかりイルミネーション（平成30年12月1日～平成31年3月10日）

旭川街あかり計画に基づき、「街あかりシンボルゾーン」をイルミネーションで飾り、冬季の夜の景観美を創出する事業で平成7年から開始され旭川の冬の風物詩として定着。緑橋通り、平和通買物公園、昭和通り、常盤ロータリー等で約16万個のイルミネーションを点灯。

外国人観光客の増加により、点灯期間及び時間の延長を図り12月1日から3月10日までの3ヶ月間、17時（買物公園・7条緑道は16時30分）から23時までのロングラン点灯を実施した。今年度から緑橋通に動物型イルミ、買物公園には格子型イルミが登場、買物公園のモニュメントイルミや緑道イルミの光のトンネルではインスタ映えするとして記念撮影をする観光客の姿が見られるなど、中心市街地の賑わいを演出する一助となっている。今回から事業についてプロポーザル方式による民間委託化を図り、パンフレット広告や買物公園のフラッグ広告を導入して協賛金の増額に成功した。 【市受託事業】

(8) ●宮崎市友好訪問団2018（平成30年12月5～8日開催）

宮崎市との友好訪問ツアーは、昭和62年8月に旭川市において当協会と宮崎市観光協会が友好観光協会提携盟約を締結して、昭和63年3月に旭川側から第1回目の宮崎市訪問を実施したことに始まる。以来2年に1度のペースで相互に交流を行っており、平成30年度は16回目の宮崎市訪問団として旭川から21名が参加して交流を深めた。 【当協会自主事業】

(9) ●旭川地区観光関連新春交礼会（平成31年1月15日開催）

旭川周辺市町の観光協会をはじめ、あさひかわ観光誘致宣伝協議会、(一社)大雪カムイミントラDMO、旭川ホテル旅館協同組合、旭川シティホテル懇話会、旭川観光社交組合などが共催により実施する新春交礼会。観光関係者や行政関係者など約200名が出席して、新年の抱負を語り合いながら情報交換を行なった。 【当協会自主事業】

(10) 第60回旭川冬まつり（平成31年2月6～11日開催）

道北最大の冬季イベント。氷彫刻世界大会と併催で6日間開催。60回記念の今回は人気お笑い芸人 ANZEN 漫才やヒーロショーのステージなどが人気を集め、毎晩花火を上げてインバウンドを含む夜間の集客に成功した。「冬マルシェ」は昨年より5店舗多い37店舗で、実行委員会売店含む売上合計は昨年より12.3%増の31,640千円となった。

なお、当協会は「冬マルシェ」の売上管理、「実行委員会売店」の運営、「ほっとラウンジ」の清掃、ゴミの分別収集を担い、旭川観光ボランティア協議会は冬まつり市民ボランティアの事務局及びスタッフとして会場案内や清掃、外国語通訳などの役割を担った。

観客数は昨年より7千人多い98万3千人（対前年比100.7%：97万6千人）。

【実行委員会参画事業】

(11) 第38回バーサーロペットジャパン（平成31年3月9～10日開催）

北欧スウェーデンのグスタフ・バーサー王の偉業を記念し、1981年に第1回大会を開催して以来、旭川の冬の一大スポーツイベントとして定着。

クロスカントリースキーは「富沢会場」、歩くスキーは市内中心部の「北彩都特設会場」の2会場で開催し、旭川観光ボランティア協議会は2日間ともゴール付近の給食所における給食サポートを担当した。参加者数は2,562人（対前年比100.8%：2,541人）。

【実行委員会参画事業】